

2020年度 ダスキン健康保険組合が取り組んだ保健事業

2020年度、ダスキン健康保険組合は、引き続き第2期データヘルスで計画策定した健康課題を中心に、組合員お一人ひとりの健康維持・増進のため、医療データと健診データを活用し、健康管理や疾病予防重症化予防などの政策に取り組みました。

※データヘルス計画は医療費データや健診情報等のデータ分析に基づいて、PDCAサイクルで効率的・効果的な保健事業を実践するものです。すべての健康保険組合は2015年度からの実施を国から求められています。

■ 組合員の皆さまに、ご自身の健康状態を知っていただくための事業 ※対象者は2020年4月、実績は2021年3月での人数。

特定健康診査	節目健診	ファミリー健診（特定健診を含む）	受診勧奨
<対象> 40～74歳の被保険者・被保険者配偶者・被扶養者 生活習慣病や前兆であるメタボの早期発見・改善のため事業主とのコラボヘルスにより定期健康診断時に実施。健保費用で全年齢対象にHbA1c（糖代謝）、腎機能項目（クレアチニン・eGFR）。40歳以上に眼底検査を加えています。 ※節目健診対象者も含む 対象者：4,703人 受診者：4,454人	<対象> 40歳以上3歳刻み（73歳まで）の被保険者 定期健康診断の項目に、腹部エコー・肺機能検査など人間ドックの検査項目と同等の詳細な項目を追加し、提携医療機関で受診いただきました。 ※がん検査項目は（胸部・肺・胃部・大腸・婦人科） 対象者：1,608人／受診者：1,341人 ※うち通常の定期健康診断に変更者63人	<対象> 被扶養配偶者、40歳以上の被扶養者と任意継続加入者 被扶養配偶者、ならびに40歳以上の被扶養者と、任意継続加入者を対象に実施。疾病の早期発見・治療につなげるため、40歳以上の方は3歳刻み（73歳まで）の節目健診を導入。かかりつけ医紹介を含む受診サポートと、パート先などでの受診結果送付依頼も行いました。 対象者：1,445人／受診者：818人	<対象> 健診結果で重症化リスクのある方 健診結果の重症化リスク項目をもとに、看護師・保健師が医療機関の受診状況を確認の後、電話受診勧奨を実施。他にも生活習慣改善プログラムや二次健診の受診促進勧奨も行いました。 対象者：1,456人 実績：555人
人間ドック受診費用補助	婦人科検診補助	大腸がん郵送自己検診補助	医療費通知／ジェネリック差額通知
<対象> 40歳以上の加入者のうち希望者 40歳以上の加入者のうち定期健康診断受診5カ月後の希望者を対象に実施。 ●健保負担上限金額 15,000円 ●受診対象期間（10月～翌2月） ※人間ドック、肺ドック、脳ドック、胃内視鏡、大腸内視鏡 受診者：43人	<対象> 女性被保険者・被扶養配偶者・40歳以上の被扶養者 医療機関および、事業所での集団婦人科検診で実施。 ●受診対象期間（10月～翌2月） 集団婦人科検診7事業所 受診者：278人 償還払受診者：55人 ※節目健診・人間ドックなど、他の検診プログラムでの受診者は補助対象外（参考）健康診断での受診を含め検診受診合計：1,635人	<対象> 被保険者・被扶養者の希望者 被保険者・被扶養者の希望者を対象に実施。 ●受診対象期間（10月～翌2月） 利用者：101人 ※節目健診・人間ドックなど、他の検診プログラムでの受診者は対象外（参考）健康診断での受診を含め、検診受診合計：3,211人	<医療費通知対象> 2020年1月～10月の医療費発生の方に年1回発送。 ●発送件数：6,654件 ※2021年度はWebサービス「KOSMO Web」で毎月通知に変更。 ※紙通知希望者には2021年1月～10月分を年1回発送。 <ジェネリック差額通知対象> 差額通知（3カ月分で500円以上の差がある方）。年2回実施。発送件数：871件

■ 組合員の皆さまに、ご自身の健康状態の改善に取り組んでいただくための事業

特定保健指導	Under40／服薬者生活習慣改善プログラム	重症化予防プログラム	前期高齢者保健指導プログラム
<対象> 特定健診の結果、健康リスクが高まる可能性がある方 国の基準に従い、特定健康診査で健康リスクが高まる可能性がある方に、動機づけ支援、または積極的支援を実施。 ※参加しやすいように期間を3カ月にし、選べるコースを追加。 申し込み時期により、完了迄に年度がまたがる場合があります。 2019年度分対象者280人 参加者247人 2020年度分対象者823人 申込数239人	<対象> 健康診断の結果、40歳未満、服薬者の健康リスクのある方。 40歳未満、服薬者の健康リスク対象者の重症化予防のため、専門家による新たな生活習慣改善プログラム。 2020年度の健康診断結果による対象者への実施は休止しました。 ●Under40 ●服薬者指導	<対象> 健康診断の結果、糖尿病や脳・心血管疾患等の健康リスクの高まる可能性のある方 健診結果に基づき、糖尿病および脳・心血管疾患重症化予防のため、専門看護師による保健指導を実施。直接面談、タブレット貸与、スマホ、電話を利用。 ●糖尿病重症化予防 参加者：6人 ●脳・心血管疾患発症予防 参加者：6人 ●オンライン禁煙プログラム 参加者：36人	<対象> 前期高齢者（65歳以上）の健康リスク対象者 前期高齢者前の方を含め、健康リスクを感じている方を対象に、重症化予防のため、専門家による生活習慣改善プログラムを実施。 ※60歳以下の希望者にも実施。 ●ロコモフレイル予防ポケットセラピストプログラム 参加者：74人

■ 組合員の皆さまの健康増進にお役立ていただくための事業

kencom	家庭用常備薬の割引軽減	「みんなで歩活」ウォーキングイベント	スポーツ施設 法人会員
健診結果、医療費情報チェックができ、一人ひとりに合わせたICT活用の「個人向けポータルサイト」です。楽しく健康習慣を身に付けるための情報提供を行っています。医師による健康相談サービス「first call」にも連携しています。 登録者：2,463人	組合員価格で軽減。郵送、FAX以外にホームページからはいづつでも申し込みができます。 郵便・FAX利用者：404人 WEB利用者：164人	健康増進のため、春と秋実施。2020年度の春はコロナ禍のため中止となりました。毎回参加者が増え、新たなランギング賞をめざしチームで楽しく競っていただきました。 11月1日～30日：115チーム 713人 （うち労働組合30チーム 186人）	スポーツクラブ「ルネサンス」の法人会員利用案内を実施。マシントレーニング、スイミング、スタジオメニューなどがあります。コロナ禍の対策として、オンラインレッスンも加わり、無料レッスンの案内も実施しました。

■ 組合員の皆さまに、健康に関する各種情報を提供するための事業

広報誌「santé」	ホームページNet-IPPO	健康相談	コラボヘルスによる健康経営サポート事業
広報誌「健保だより(santé)」を被保険者には事業所へ、被扶養者用はご自宅に年2回送付。制度変更や予算・決算なども掲載。ウォーキングイベント結果や、健康白書のダイジェスト版を掲載し、家族みんなで健康意識を高めていただくきっかけとしています。	当健康保険組合のホームページを、インターネットを通じて公開。（スマホやタブレットでも閲覧可能） http://www.duskin-kenpo.or.jp/ ※年間41,651件（月平均3,470件）の閲覧利用	24時間・年中無休の電話健康相談を設置。 TEL 0120-860-647 医師と気軽にチャット相談ができる「first call」も、kencomのサイトを通じて利用いただきました。 <電話相談> 健康：121件 ところ：19件 ※複数相談含む first call相談：55件	事業主・労働組合と三位一体のコラボヘルスにより、健康経営推進のサポートをしました。 ●健康白書の公表 事業所の働きさんの健康推移と各種取り組みの成果を分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果を公表。組合員の皆さまには広報誌「santé」にてお知らせしています。 ●健康管理システム「すこやかサポート21」活用 事業主が健康診断の検査結果をクラウドシステムで一元管理し、事業主と健保が共有した情報をもとに双方で受診確認、受診勧奨を実施しました。 ●健康経営優良法人認定 健康経営優良法人を事業主が認定できるようサポートしました。 <認定事業所>大規模法人：7事業所 中小規模法人：14事業所

※保健事業の内容は、組合会にて毎年度決定いたします。「インフルエンザ予防接種補助」事業は2018年度をもって終了いたしました。

※「人間ドック受診費用の健保負担上限額」は2020年度は15,000円に変更となりました。